



鹿児島市議会議員

鹿児島市議会議員

鹿児島市議会議員

たてやま清隆

園山えり

大園たつや

令和5年第3回定例会は、「かごしま国体」開催の影響で、例年より早い会期で開会されました。下鶴市長から提出された**8億3490万3千円**の補正予算と決算議案を除く11の議案等について、党市議団は、それぞれ個人質疑に立ち、市長と当局の見解を質しました。採決では、**養護老人ホーム鹿児島市立喜入園の廃止**に係る3議案について、**3つの理由**（①市直営の維持による民間施設の質的向上への寄与。②他の民間施設の閉園による養護老人ホームの定員削減。③適切な措置入所が実施されなければ、入所者と職員の定員削減によるサービス低下の懸念）を討論で表明して反対しました。

また第3回定例会には、新たな物価高騰対策が提案されなかったため、閉会後の9月19日、党市議団は、市長宛に「**切れ目のない物価高騰対策を求める要望書（5項目）**」を提出し、具体化を求めました。



要望書を財政部長(右)に提出

「市民アンケート」にご協力ください!



アンケート
QRコード

市営住宅

根拠なき駐車場使用料の 設定は中止を!

市営住宅の駐車場を市が管理し、使用料を月額2,000円(旧市以外1,100円)とすることでほぼすべての駐車場使用者が大きな負担増となる問題を質問しました。

当局は、約1億5千万円徴収することになる使用料を何にいくら使うつもりなのか、この時点でも根拠を示すことはできませんでした。

市が参考にした県営住宅では、市域内で7,500万円を徴収、そのうち約1,200万円が委託料、年間の維持修繕費は30万円、残りは県営住宅建設の借金等の返済などであり、集めすぎていることが明らかです。

しかも、市は現在の管理組合に指定管理者からの再委託で日常的な管理をさせることを想定しており、市がすべての管理をするわけではありません。

これまで意見交換を行ってきた組合の皆さんに、この方針を説明する場を設けない考え方であることも明らかになりました。半額の経過措置を一年延長する考えも示されましたが、そもそも根拠のない使用料の設定が問題です。

党市議団は今後とも管理組合の皆さんと中止を求めます。



市民の市政をつくる会・代表委員が
1,926筆の「中止を求める署名」を提出

川内原発

川内原発20年延長を問う 県民投票の実現を!

市民団体が取り組んだ川内原発20年延長を問う県民投票を求める署名活動は、有権者の50分の1にあたる2万6475人を大きく超える**4万6,112人の署名**が有効と認められました。鹿児島市では2万人分を超える署名が集まりました。市民団体は、10月4日、塩田知事に対して「県民投票条例」制定を求める本請求を行いました。

党市議団は、県民投票で20年延長を問うのかどうかの知事の「意見」が今後大変重要となることから、市長に対して見解を質しました。

党市議 このような県民の動きが広がったことについての見解と住民の思いを受け止め、県民投票を実施するよう知事に求めるべきと考えるが、市長の見解は

下鶴市長 安全性に対する不安などから投票によって意思表示したいと考える方がそれだけおられることの表れであると考えている。知事が「県民の声をしっかり受け止め、9月議会中にも条例制定案を県議会に提案する」との考えを示されたことから、今後の動向を注視してまいりたい。



県庁前の本請求集会に参加しました